

「広島神楽」定期公演へようこそ!

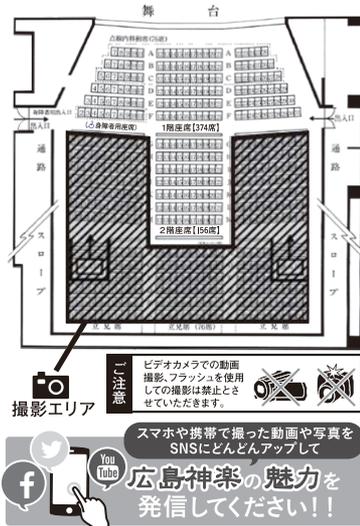
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



5月25日のタイムスケジュール

出演：中原神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『紅葉狩』

(およそ 40 分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『大江山』

(およそ 40 分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

なかばらかぐらだん

中原神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

中原神楽団は、19世紀当初の文化年間頃、島根県邑南郡邑南町矢上地方に伝えられる旧舞を当時の中原八幡神社氏子中の有志が習い、その子孫らが代々継承しております。旧舞を中心に活動を続け、古き伝統を守りながらも新舞の創造も積極的にを行い、新舞の演目にも力を入れて練習を行っております。

これからも、伝統芸能の保存、伝承に日々精進してまいります。

第一幕『紅葉狩』(もみじがり)

平安時代の中頃、武勇の誉れ高い信濃の守・中納言平維茂(たいらのこれもち)は、「信州・戸隠山に棲み、世の中に災いを及ぼしている『鬼女』を退治せよ」との勅命を受けます。

維茂主従は、戸隠の険しい道を登りますが季節は秋、艶やかに色づいた紅葉は陽を受けて燃えさかる炎のように美しい景色の中で、姫に化身した鬼女が「紅葉狩の宴(うたげ)」を開いていました。主従は誘われるまま宴の客となり、酔い伏してしまいます。

麗しき姫は、正体を現し取り食らおうとしますが、その時維茂が日頃より信心する八幡大菩薩の使神竹内ノ神が現れ鬼女を追い払い『神剣』を授けます。正気を取り戻した主従は、鬼女との戦いに挑み、退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 旨山 秀男	平 維 茂 … 柴田 裕星	鬼女大王 … 旨山 健太	大 鬼 … 斎藤 栄一
	小太鼓 … 柳谷 敏男	小松高正 … 竹丸 真	鬼女赤蜘蛛 … 多川 龍介	鬼 … 多川 龍介
	手打鉦 … 鉄穴 敬三	八幡大菩薩 … 多川 三友	鬼女白蜘蛛 … 多川 純利	鬼 … 多川 純利
	笛 … 上原 正宜			

第二幕『大江山』(おおえやま)

平安の中期、一条天皇の御代、丹波国大江山に酒呑童子という悪鬼が多くの手下を従えて立てこもり、都はもとより付近一帯の村裡に出没し、悪事の限りを尽くして庶民を苦しめていました。

帝は当時、都の警護の任にあたっていた武勇の誉れ高き、源頼光(みなもとのらいこう)に大江山鬼神征伐の勅命を下されました。頼光たちは、石清水八幡、熊野神社、住吉神社に参拝し、大江山に向かう途中、三世ケ託の神が現れ、御神酒を授かります。

一行が酒呑童子の岩屋へと急ぐ途中、都からさらわれてきた紅葉姫に童子の岩屋へ案内させ、一行は童子とのはげしい問答の末、宿を許されます。一行は、携えてきた御神酒を童子たちに振るまい、酔い伏したところで、一気に切り込み、大激戦の末、見事に討ち取るという物語です。

【出演】	大太鼓 … 旨山 秀男	源 頼 光 … 斎藤 栄一	酒呑童子 … 柴田 裕星
	小太鼓 … 柳谷 敏男	坂田金時 … 多川 純利	茨木童子 … 竹丸 真
	手打鉦 … 塚本 宏信	住吉大明神 … 岡崎 修	紅 葉 姫 … 多川 龍介
	笛 … 上原 正宜		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。